

平成 30 年度予算主要事業の概要 (事業別説明資料)

病院管理室

目 次

「里山ナース」院内認定制度の創設	1
地域医療研修フィールド構想の推進	2

新規 「里山ナース」院内認定制度の創設

1 事業費（単位：千円）

【財源内訳】

【主な使途】

1,000	一般財源	1,000	広告宣伝費	700
			旅費	300
(前年度予算 0)				

2 事業背景・目的

超高齢化社会の先進地である本市では、医療のみならず、介護、福祉、予防との連携が極めて重要で、退院後も安心して暮らせるよう「地域包括医療・ケア」を推進しています。

その実現には、急性期・慢性期・在宅支援に至るまで質の高いサービスを提供できる看護師の育成が課題となっています。

このため、病院内に人材育成プロジェクトチームを設立、地域包括ケアに必要なスキルを身につけるための育成プログラムを実施するとともに、地域性からイメージされる『里山ナース』のネーミングを用いた認定制度を創設し、病院運営会議（院長、看護部長等で構成）により認定された看護師が地域包括ケアの推進看護師として活躍する仕組みを構築します。

3 事業概要

① 「里山ナース」院内認定制度の創設

「里山ナース」は、若手看護師がともに働きたいと感じるロールモデルとして活動し、若手看護師の採用から育成に至るまでをトータルプロデュースする役割を担います。

※「里山ナース」の定義は、救急から急性期看護、慢性期看護から看取り期まで「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を提供するために、病院の枠を超えて多職種との連携・調整を推進し、地域住民が望む場所でその人らしく生きることを家族も含めて支えていく看護師。

② 看護大学との連携による人材育成

看護大学生の地域実習の受入れを前提とした大学との調整・共同事業を進めます。

③ 「里山ナース」を活用した人材確保

里山ナースのキャラクター化によるイメージ戦略を展開し、職業紹介や就職セミナーの場でより親しまれ、憧れにつながる仕掛けを創出します。



会 計	国民健康保険病院事業会計		
所 属	病院管理室管理課 Tm0578-82-1150	予算書	P. 268～269

新規 地域医療研修フィールド構想の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
200	一般財源	200 旅費

（前年度予算 0 ）

2 事業背景・目的

飛騨市民病院は、本市のみならず高山市上宝地区等の地域医療を担う病院です。最大の課題である医師不足対策の一環として、ここ数年は積極的な研修医の受入に努めており、その結果研修医は着実に増加してきています。

要因は、豊かな自然に恵まれた中で研修が受けられることに加え、医療・介護・福祉のすべてが地域内で完結する環境にあるため、関係機関の連携がとりやすく、地域医療研修の最適なフィールドとなっていることがあげられます。

そこで、研修医の住環境や研修プログラムの更なる充実を図ることで、地域医療研修フィールドとしての魅力を高め、地域医療の担い手育成や将来に向けての医師確保につながる取り組みを進めます。

3 事業概要

『地域医療を学ぶ最高の研修フィールド・飛騨市民病院』をキャッチコピーとして、魅力的な研修環境を計画的に整えていきます。

① 研修医専用宿舎新築に向けての調査検討

- ・研修医のライフスタイルに合った住宅の調査検討
- ・平成 31 年度建築を目標にした用地確保等

② 飛騨市民病院の特徴を活かした研修プログラムの充実

- ・外科系、内科系など幅広い分野での研修
- ・入院治療計画から退院調整まで一貫した指導
- ・介護体験や訪問診療、訪問リハビリへの同行など地域包括医療の実践

③ 地域の魅力を伝える病院職員や市民との交流事業

- ・病院職員が地元観光など地域の魅力を紹介
- ・市民団体「飛騨市民病院を守る会」による研修医や医学生との交流

会 計	国民健康保険病院事業会計		
所 属	病院管理室管理課 TEL0578-82-1150	予算書	P. 268